

## 令和7年度第4回川越市環境審議会 事前質問等回答

資料2（公開用）

No.	質問・意見内容	市回答
1	<p>169ページPDCAにおける「C」チェック機能への言及が、計画全般にわたり企業の環境計画のチェックを推進する内容が見えてこない。グリーンウォッシュ（環境支援実践を装う）企業の可能性を監視、チェックすることは計画とワンセットである。市財源を考慮すると「企業の環境計画が実践されているかの呼びかけ」だけでも文言に入れることが重要。</p> <p>強いて言えば、p.119、p.152にあるように「企業の環境支援のプラン・計画を支える」「多様な手法・主体との連携」の側面は言及されている。しかし「向こう10年のスパンの緑の基本計画」で企業が推進する「環境計画を後押し」するだけの内容となっている。「計画それ自体の達成事後チェック」、まさに企業にもPDCAの「C」＝チェック機能がビルトインされているかどうかの「川越市からの呼びかけ」が重要ではなかろうか？環境省も、具体的には、ネイチャーポジティブ社会の推進には企業の「効果が見える実践となっているか」のチェックが欠かせない。</p>	<p>素案169ページ記載の計画の進行管理につきましては、計画全体の管理方法を示すものであり、各施策・取組におけるPDCAサイクルは、施策ごとの進捗管理の中で実施していくことを想定しております。</p> <p>例えば、企業の環境活動支援の例として、素案107ページの施策16-2においてISO14001などの認証取得支援を掲げてますが、認証取得後も更新を継続しているか等を確認したり、そのほか、企業向けの補助金交付については原則として実績報告書を提出させたりと、施策内のPDCAサイクルの中で一定のチェック機能を組み込んでいくものとなります。</p> <p>一方で、ご指摘のとおり国内外においてグリーンウォッシュの問題が生じている中、規制などについては市町村レベルでは実践が難しいものと認識しておりますが、ご意見にありました企業への呼びかけや、あるいは、消費者へ環境に関する正しい知識を周知していくことは重要であると考えますので、計画本文や施策への文言の掲載について検討いたします。</p>